八王子は防災ワークショップが盛んな地域の1つです。なかでも、全国的に注目されている「上柚木地区」と「絹ヶ丘1丁目地区」の事例をあげ「頭で考える防災」のワークショップを紹介します。

続き

上柚木地区

女性スタッフの多いPTAが主体となり、アイデアや意見を反映。東日本大震災発災当日何もできず、頼りとする父親不在に子どもと年寄りが残ったことから「これではまずいんじゃないの」とお母さんたちの気づきがきっかけで実行委員が発足。5回目を迎える現在、毎回100人を超える保護者が参加。「防災グループトーク」を中心に「災害時に地域のことを地域で解決する」ワークショップを展開しています。

上柚木地区

絹ヶ丘1丁目地区

1980年代前半に宅地分譲された地域で、住民の70歳前後の女性たちが町会・自治会に参加して活躍。斜面住宅もあり、防災に対する意識が高いことも特徴です。防災まち歩きを通して、地域内の3つの地区公園の機能や地盤と擁壁、空き家などもチェック。防災にとどまらず、生涯学習といった日常的な活動も盛んで顔の見える関係があります。

市古教授は発災直後の対応に加えて1週間、1カ月先のことも考えてみることが首都直下型地震への備えとして大事と話しています。

※必ずしも建築年代が古いというだけで耐震性の高低が決まるものではない。

絹ヶ丘1丁目地区

首都（多摩）直下型地震への備え
～回復力のあるコミュニティを創る

首都大学東京、都市政策科学科・市古太郎教授は、防災・復興まちづくりの研究者です。市古教授は、大災害が発生する「事前」に被害を想定して、生活再建・復興計画をまとめておく考え方「事前復興まちづくり」を提唱しています。

市古研究室でサポートした気仙沼での住まい再建ワークショップ

市古太郎 教授

市古教授は、これまで新潟県中越、中越沖柏崎、阪神・淡路大地震、熊本地震といった国内災害のほか、台湾、トルコ、インド洋大津波の被災地復興調査に取り組んできました。東日本大地震では、三陸被災地の人々に寄り添う復興まちづくり研究を今も精力的に進めています。

事前復興まちづくり

これらの災害復興研究の取り組みを通して、「事前復興まちづくり」を提唱。都区内に限らず八王子・町田・調布など市部でも、地域の人たちと共に、多様な防災力向上を目指してワークショップを企画、支援しています。そうした市古教授に、八王子・日野周辺エリアにおける地震の向き合い方を伺いました。

地域特有の注意点

「現在M7・3クラスの直下地震は何処で起きてもおかしくない状況です。被害イメージは、地震火災（大火災）とは異なった形の災害になります」と指摘。次の4点に気を付けたいと話しました。

Check 地形や建物による影響。建築基準法が変わり、耐震性が高い建物とそうでない建物が混在。自宅は大丈夫だが隣は倒壊といった現象。斜面住宅が多い地域は、地盤災害が発生し中越地震のように道路が寸断され、一部孤立する地域も発生。

Check 間接被害による影響。自宅は大丈夫でも鉄道が動かず帰宅困難や、ライフラインがストップするなど。スーパーやコンビニに商品がないサプライチェーン途絶による生活被害が発生。

Check 気象災害の影響。近くの河川が氾濫する、裏山が崩れるなど想定。洪水ハザードマップや土砂災害ハザードマップの2つを確認することが重要。自宅だけでなく、子どもたちの通学路や避難場所にもなっている学校付近などに注意。普段から親子で散歩をしながらマップを見る習慣を。

Check 多摩エリアは被害が少ない地域。2000年三宅島の島民を受け入れた経緯もある地域のため、他者を支援する伝統を継承したい。

次のページに続く

サン・ライフ
南多摩総合ホール
家族葬
〈コールセンター〉
0120-41-3140

舟木一夫コンサート2018
涙しも新たに!!感謝!!とお楽しみ頂けます!!
通常定価8,000円を特別割引!!
4,900円(税込)
※未就学児のご入場は出来ません
9月13日(木) 14:00開演
9月14日(金) 13:00開演
オリンパスホール八王子
（JR八王子駅南口直結　京王八王子駅から徒歩約7分）
ショッパチケ
0570-007-677
月～金 10:00～17:00
土曜 正午まで（日・祝休み）
ショッパー 検索
※手数料1予約ごとに216円+発券手数料1枚ごとに108円かかります。